

愛の家

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

愛の家

- レクリエーション活動をと
おして
- 新型コロナウイルス感染症につ
いて
- 白熱の運動会!?

あいハート須磨

- ボランティア活動の一
部をご紹介します
- 認知症進行による食事の
問題
- カスタマーハラスメントに
対する行動指針

あいハート離宮前

- 有料老人ホームを選ぶ際
のチェックポイント③

2022年度 第2四半期 (中間期) 運営状況

特別養護老人ホームあいハート須磨
リニューアルOPEN案内 **2**

須磨
デイサービス
利用者の
皆様



レクリエーション
活動をとおして

◆かがやきスタッフ 七野 和人

今年もあと数か月で1年が終わりますが、振り返ってみると早い1年でした。4月から新しい体制で始まり半年が経ちましたが、たくさんの方がありました。



今年度から月に1回、レクリエーション活動計画を立て、実施しています。例えば、マクドナルドやミスタードーナツに行って商品を購入し、食べるなどの活動内容があります。8月には、レクリエーション

担当の職員から「利用者さんについて」という「飯を食べてもらいたい。」という「気持ちから、お弁当の写真を見てもらい、個々で選んだお弁当を昼食時に提供しました。各自で思いおもしろいお弁当を選んだということもあって、とても美味しそうに食べている姿が印象的でした。」



10月のアート展では、テーマに沿って「わたしが好きなもの」で利用者さんと一緒に作りました。好きな物を聞き、それを職員と一緒に画用紙を切ったり、絵や文字を書いたりしました。出来上がった作品を利用者さんに観てもらい、「これは○○さんが作った作品ですよ。」と伝えるとき、嬉しそうに作品を眺めていました。掲示された際には、利用者さんが自分たちの作品が掲示されていることに、嬉しそうな表情を浮かべていました。利用者さんが製作している際、楽しそうにしていたので今後も製作活動を

取り入れてみようと思いました。レクリエーション活動が充実できているのは、職員同士で利用者さんが楽しめるよう、多くのアイデアを出し合っているからだと思えます。

今年も残り少なくなりましたが、これからも利用者さんたちと職員が、より良い一年だったなと思えるよう、また来年もより良い1年になるよう充実できる日々を過ごしていきたいと思えます。

新型コロナウイルス
感染症について

〜オミクロン株
対応ワクチンへの期待〜

◆看護師 平部 康人

9月も猛暑が続いておりましたが10月に入るといきなり寒くなり急いで衣替えをしました。皆様も体調管理には十分に気をつけていたいただきたいと思えます。

2019年12月、中国で発生した新型コロナウイルスは瞬く間に全世界に広がり3年が経過しようとしています。今やマスク生活・手指消毒が当たり前の時代になってしまいました。

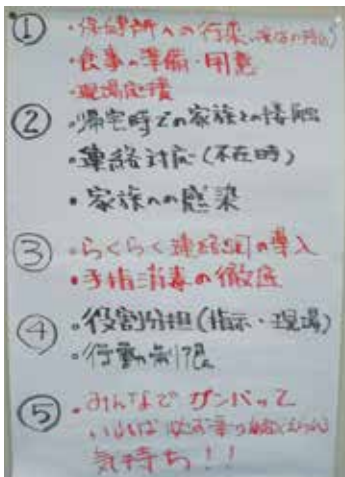
全国的に感染者数の増減には

波があり、夏休みが過ぎてからやっと減少傾向に転じ少し「ホッ」としましたが、冬季に入るに当たり再び増加傾向に転じる可能性は十分に考えられるため引き続き油断できない状況は続きます。



当施設でも今年2月、クラスターが発生してしまい利用者さん・職員の多数が罹患しました。利用者さんで重症化される方はいませんでしたが、保護者様には大変ご心配をおかけしました。また、支援職員も不足しましたが他部署からの応援等で乗り切ることができました。

個人的に期待をしているのがオミクロン株対応ワクチンです。各自治体によっては早ければ10



個人的に期待をしているのがオミクロン株対応ワクチンです。各自治体によっては早ければ10

月からこのワクチンの接種が始まっています。感染者の増減にどう影響しているのか関心を持っていきます。

有効性が高く感染にブレーキがかかり、更に減少傾向になっていくことを切に願うばかりです。当施設の利用者さん・職員の次回接種はこのワクチンを使用予定ですので円滑に接種が進むように自治体・かかりつけ医とも連携を図り取り組んでいきたいと思えます。何か最新情報等があれば随時発信をしていきたいと思えます。



また、引き続き基本予防策の手洗い・うがい・各種消毒等の徹底に努めていきたいと思えます。

白熱の運動会!?

◆工房みさき 岡原 颯大

今年は雲ひとつない天候で、無事に運動会を開催することができ、とても嬉しく思います。

実は、参加するのは二回目ですが、去年は、ボランティアとして参加



させていただきますました。

そして今回、初めて職員の立場で参加してみてもいつも見ている姿とは違う利用者さんの一面を見ることができました。

また、私は新人職員ということ

で利用者さん、職員の前でラジオ体操のお手本を同期の皆と担当しました。

前日までは、

うまくお手本になれるか少し不安で悩んでいましたが、前に立った瞬間に不安

はなくなり、お手本になったか分かりませんが、最後まで終えることができたと思えます。



私の最も思い出に残っている競技は、利用者さんが本気になっていたお菓子食い競争です。利用者さん全員が一生懸命取り組む姿が微笑ましく感じました。お菓子「食い」競争なのにお菓子を手で取ってしまいう利用者さんが多く、お菓子「取り」

競争が変わっていて、それも愛の家らしさがあったとてもいいなと思いました。

その後、美味しくお菓子を食べている利用者さんの姿からは達成感で溢れていました。

しかし、次のサイコロリレーの招集が始まった暑さのせいも、積極的に参加する様子が見受けられず、少し心配になりましたが、次第に参加する利用者さんが増えていき安心しました。

運動会が終了し、工房みさきに戻ってから、利用者さんに感想を聞く



と、「サイコロリレーで目が回ったけど、楽しかった。」午前だけの運動会じゃつまらないから、一日の運動会がやりたい。」といった声が多く聞かれました。

今回初めて職員として参加し、競技に参加されている利用者さんの姿をみると、私も次第に元気になるしました。

来年も、開催されることを心から祈っています。

あいハート須磨

ボランティア活動の一部をご紹介します

◆事務スタッフ 新名 美佐子

あいハート須磨では、ボランティアの方々に様々な活動をしていただいています。しかし、近年ではコロナ禍ということもあり行動の自粛・制限を余儀なくされ、施設でもほとんどの行事や活動が中止となっています。

そのような中でも感染対策をしつつ、施設的环境を整えてくださるN.T.T.労組退職者の会のボランティアの方々がおられます。

代表的な活動の一つが、季節に応じた花壇の花の植え替えや手入れです。夏の炎天下で汗だくに



なりながら作業をしてくださることもあります。チューリップの時期は色とりどり鮮やかな花壇が恒例となり、道行く人の中には前で写真を撮る人もいます。

そのほか、園芸や環境整備の活動もあります。屋上で大きな玉ねぎを育て、利用者さんと収穫したあとは厨房で調理され、おいしい食事となります。施設の屋外では蚊や蜂と



格闘しながらの雑草刈り、屋内では大きなスチーマーでのカーペット洗浄や窓・自動ドアの拭き掃除など、多種多様な活動をしていただいています。

また、N.T.T.労組退職者の会のボランティアの皆様以外にも、少しずつではありますが活動を再開していただいています。

ここ数年でガラリと世の中も変わり、ボランティアの方々との関わりも少なくなり、遠足や交流会、夏まつりを普通にできていたことがとても昔の様に感じます。

コロナの問題だけでなく、あいハート須磨では増床もあり、人員不足など様々な課題はありますが、

あいハート須磨の一大イベントである夏まつりを再開できる日がくるのを願っております。

日頃のボランティア活動をしていただいている皆様に、改めて感謝申し上げます。

認知症進行による食事の問題

◆厨房部門長・管理栄養士

澤田 州子

高齢になると認知力の低下により食べ方や姿勢、嚥下機能に様々な問題が出てきます。特に認知症の場合は注意が必要で、最初は自分で食事ができていても、だんだんと食えることができなくなる、食べたことを忘れる、食べ物を認知できない、口を開けない、口に詰めない、といった障害が出てきて、自分一人で食えることが困難になります。認知症のタイプ別に食事で現れる問題には特徴があると言われています。



■アルツハイマー型認知症

- 食事をしたことを忘れる、食物でないものを食べようとする、無理に口の中に物をため込みずっと噛んでいる、また、嚥下機能の低下も見られます。

■脳血管性認知症

- 見えない空間があるため食事しづらく、麻痺によって箸やスプーンがうまく使えないため自分一人では食事に時間がかかり、十分な栄養が摂りにくい場合があります。ただし食事環境を整えたり、訓練することで改善されることもあります。

■レビー小体型認知症

- 幻視や視覚空間障害が現れるため、食事に集中できなくなり、食べ物に虫が入っているように見えたり、食べ物までの距離がつかめず手が届かなかったりするなど食事しづらい状態になります。

生きている限りできるだけ口から食べることを続けたいものですが、認知症の進行により、食事をして栄養を摂るまでに多くの問題が発生し、本来楽しく生き

がいをもたらずはすの食事が、ご本人とご家族にとって負担になる場合があります。介助する側は大変ですが、箸やスプーンなどの自助具、姿勢、食べ物の形状などに配慮し、少しでも「自分で食べ続けられる」ことを周りが大切に、サポートしていただけたらと思います。



あいハート須磨では、障害があっても自分で食べる力を維持してほしいという思いから、ご利用者に自助具の貸し出しを行っています。ご興味があり一度使ってみたいと思われる方はぜひお声掛けください。

..... カスタマーハラスメントに 対する行動指針

◆ あいハート須磨施設長 高岡 順二

4月に着任してから早くも半年が経過しましたが、着任してまず初めに手掛けた仕事がかスタマーハラスメント(略称カスハラ)対策です。

昨年4月に施行された改正労働施策総合推進法(パワハラ防止法)により職場におけるパワハラやセクハラ対策が義務付けられ、これまで以上に強化されました。一方、顧客という立場の優位性を盾に、悪質で理不尽な要求を求められる行為、いわゆるカスハラもハラスメントの一種となりますが、通常のクレームとの線引きが難しく明確には法制化されていません。

本来、顧客からのクレームは、商品、サービ



スに対して要求、主張を訴えるものであり、それが業務改善や新たなサービスの提供に繋がる貴重な意見として受け止めるべきものです。しかしながら、不当で過剰な要求や暴言、長時間の拘束など、明らかに悪質なクレームと考えられるケースも存在します。このような行為は、職員に過度の精神的ストレスを与えることとなり、業務遂行にも大きな支障をきたします。

こうした行為に対応すべく、厚労省の指針に基づいて「カスタマーハラスメントに対する行動指針」を制定しました。ご利用者、ご家族等と良好な関係性を保つことと同時に、職員が心身共に健康で業務に携わることを目的とし、カスハラが発生した場合は、専門家の協力を得ながら組織全体で対応していくといった内容です。

通常のクレームとカスハラとの違いを見分けることはとても難しいですが、職員により理解を深めてもらうため、定期的にカスハラに関する研修の実施や対策マニュアル作成などの対策に取り組んでいきたいと思っています。

あいハート離宮前

有料老人ホームを選ぶ際の チェックポイント③

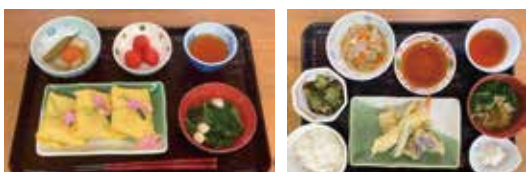
◆あいハート離宮前施設長 古崎 徹

平素はあいハート離宮前の運営にご理解
とご協力を賜わり感謝申し上げます。

さて、前回はサービスに関するチェック
ポイントについてお伝えしましたが、今回
はより具体的なチェックポイントについて
お伝えしたいと思います。

まず、高齢者施設に於けるお食事には大
きく3つの提供方式があります。最も多い
のが給食業者への委託方式、最近急増して
いるのがクックチル方式、そ
して当ホームが採用してい
ます直営方式であり、それぞ
れに一長一短があります。

直営方式ではホームが調
理師などのスタッフを採用・
雇用しますので、腕の良い料
理人を選び好みして配置す
ることが出来ますが、反面、
急な欠員に対しては自社で
職員確保をしなければなら
ず一定の備えが必要です。ま



た、この方式の最大のメリットはご入居者
様から頂戴した食費等は全額がお食事に反
映するという部分です。

一方で給食業者への委託では専門業者な
らではのノウハウや職員体制の安定という
メリットがある反面、ホーム側には調理師
の人選に余地がないことや、食費の一部は
「委託費」という形で給食業者のいわゆる本
社経費等となります。また、献立を本社一括
で行っていることが多いため、ご入居者様
の声が反映しにくい場合があるようです。

最後はファミリーストランで採用され
ることが多いクックチル方式ですが、湯煎
や炒めて提供するだけという手軽さで、介
護職員が担って調理スタッフを置かないホ
ームもあるなど、安価で調理人の腕によら
ず均一の味が提供できるメリットがある反
面、焼き物や炒め物、揚げ物などの一部の献
立とは相性が悪い場合があるようです。

お食事は日々の貴重な楽しみのひとつで
すから、これら提供方式をご確認いただ
くとともに、献立表を取得されたり、試食がで
きるホームもありますので尋ねてみられる
ことをお勧めしています。

当ホームではこの提供方式に加え提供方
法にもこだわっています。配膳車とトレー
によるご提供ではなく、各フロアに設備し
ましたアイランドキッチンで直前まで保温
し、着席されたご入居者様から順に目の前

で盛り付けたものをお出ししています。

次に確認いただきたいのが医療体制で
す。看護師の配置義務が無いグループホ
ームと異なり、有料老人ホームは必置です
らご確認いただくのはその体制です。24時
間365日配置の「常駐」なのか、昼間に毎
日配置する「常勤」なのか、中には週に5日、
平日のみというホームもあります。また、
「常駐でない場合には夜間の体制を確認し
ておくことも重要です。介護保険の利用料
に於いて「夜間看護体制加算」を算定してい
るホームでは、看護職員等と24時間の連絡
体制がありますので安心です。なお、この加
算の算定状況はホームが提供するサービス
を把握する上で重要なチェックポイントで



すから、この連載の中で改め
てお伝えしたいと思います。

また、医師を嘱託医として
配置しているか往診なのか
もチェックいただきたいポ
イントです。特別養護老人ホ
ームと違って有料老人ホームには嘱託医の
配置義務がありません。よって人件費の高
い医師は配置せずに「往診」を採用してい
るホームも多く、別の医師が主治医であるな
ど往診医との契約がないご入居者様の診察
や健康診断結果のチェックなどに於いて、
業務範囲が異なる場合がありますので確認
が必要です。

Pick up

ピックアップ

10/29号週刊ダイヤモンド(経済専門雑誌)の、選ぶ介護特集

『有料老人ホームランキング(兵庫県下)』にて、当ホームが4位に選出されました!!

2022年度 第2四半期(中間期) 運営状況

2022年4月1日から9月30日までの累計

資金収支計算書	本部	愛の家+きぼう	あいハート須磨	あいハート離宮前	脳梗塞リハビリ ステーション神戸須磨	合計※
介護保険事業収入	0	0	272,727,289	58,440,339	0	331,167,628
老人福祉事業収入	0	0	0	66,405,790	0	66,405,790
リハビリ等事業収入	0	0	0	0	10,320,200	10,320,200
児童福祉事業収入	0	40,145,631	0	0	0	40,145,631
就労支援事業収入	0	1,368,924	0	0	0	1,368,924
障害福祉サービス等事業収入	0	205,135,699	0	0	0	205,135,699
経常経費寄付金収入	10,996,914	122,000	105,000	5,000	0	11,228,914
受入利息配当金収入	861,100	21,355	21,839	295	16	904,605
その他の収入	5,600	1,963,439	3,396,947	6,529,767	0	11,895,753
事業活動収入計(1)	11,863,614	248,757,048	276,251,075	131,381,191	10,320,216	678,573,144
人件費支出	13,473,876	142,300,827	190,638,133	73,304,196	5,855,570	425,572,602
事業費支出	221,100	37,600,511	44,307,552	17,536,693	350,711	100,016,567
事務費支出	5,041,966	25,806,635	26,154,230	15,356,148	3,392,879	75,751,858
就労支援事業支出	0	1,597,405	0	0	0	1,597,405
利用者負担減免額	0	0	13,732	0	0	13,732
支払利息	0	0	877,245	1,162,160	0	2,039,405
その他の支出	0	391,050	2,870,050	1,117,149	0	4,378,249
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計(2)	18,736,942	207,696,428	264,860,942	108,476,346	9,599,160	609,369,818
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-6,873,328	41,060,620	11,390,133	22,904,845	721,056	69,203,326
施設整備等収入(4)	0	0	56,918,000	5,724,442	0	62,642,442
施設整備等支出(5)	114,800	1,119,333	102,465,946	12,205,652	0	115,905,731
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-114,800	-1,119,333	-45,547,946	-6,481,210	0	-53,263,289
その他の活動収入計(7)	15,350,000	400,000	39,122,340	409,112	4,000,000	59,281,452
その他活動による支出(8)	4,960,619	7,277,600	8,028,623	1,750,024	0	22,016,866
その他活動収支(9)=(7)-(8)	10,389,381	-6,877,600	31,093,717	-1,340,912	4,000,000	37,264,586
当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)	3,401,253	33,063,687	-3,064,096	15,082,723	4,721,056	53,204,623

※合計欄は内部取引消去により各拠点の合計とは一致しません

ボランティア 活動状況	愛の家			あいハート須磨・離宮前			合計		
	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計
利用者支援	0	14	14	0	140	140	0	154	154
施設運営(行事等)	0	50	50	0	11	11	0	61	61
施設整備	0	0	0	66	0	66	66	0	66
合計	0	64	64	66	151	217	66	215	281

※新型コロナウイルスの影響により、受入れをお断りしておりました。

事故発生状況	愛の家			あいハート須磨・離宮前		
	受診	診察不要	計	受診	診察不要	計
転倒による裂傷・骨折等	4	0	4	3	0	3
誤飲・誤嚥・誤薬	0	0	0	0	0	0
裂傷・骨折、その他	3	1	4	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	1	1
合計	7	1	8	3	1	4

お客様の声承り状況	愛の家	あいハート 須磨・離宮前	合計
ケア・支援内容	0	2	2
接客態度	2	0	2
嗜好・要望	0	0	0
設備・備品不備	0	1	1
その他(家族対応等)	0	1	1
御礼	2	1	3
合計	4	5	9

● 寄贈品

淡輪16区自治会様
子安 朱美様
藤本 正己様
山谷 滋彦様
(計5件)

● 寄付金

NTT労働組合退職者の会
兵庫県支部協議会様
(計11件)

● 愛のキャンパ

NTT労働組合退職者の会
大阪支部協議会様
西須磨だんらん様
(計11件)

● 寄付金

情報労連京都地区協議会様
石井 良子様
石原 喜久様
小河 次夫様
小川 房江様
小野 クリニック 小野 二広様
田中 寛様
中井 靖治様
正木 恵子様

● 9月

ご支援を
くださった方々

特別養護老人ホームあいハート須磨

リニューアルOPEN案内 Part②

前号では、あいハート須磨のリニューアルOPEN(特養エリア)をご報告いたしましたが、今回は第2弾としてデイサービスエリアの改修工事についてご紹介いたします。



まず、床材を木調のフローリングに変更しました。以前のカーペット仕様と比べてアットホームな空間へと風変わりし、和やかな雰囲気の中、ご利用者同士の会話もますます弾むようになったと感じます。

また、事務スペースを移転させたことで全体的に空間にゆとりが生まれ、ご利用者がゆったりと座れるレイアウトを実現できました。新たに設けた『娯楽スペース』は、ご利用者が大きなテレビを観ながらのんびりと寛いで過ごせるので大変好評です。



浴室は浴槽を大型化して4名のご利用者が同時に足を伸ばして浸かることができるようになりました。また、脱衣室の拡張、出入り口の増設、仕切りのカーテンの設置によって、男女の入替がスムーズになり、入浴時の待ち時間を短縮することができました。



デイサービスでは、リニューアルオープンを契機に、心機一転、スタッフ一丸となってよりよいサービスの提供が行えるよう努めていきます。

皆様の引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

あいハート須磨施設長 高岡 順二 / 副施設長 根木 浩司

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
TEL 06-6458-5723 FAX 06-6458-9678
Website <https://www.zendentu-kinki.jp>
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>
E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

